

## 山谷伝道に命を賭けた女性牧師



### 森本春子物語

1929年、熊本県に生まれ、5歳のとき、福岡で再婚していた前父の養女となる。この頃、初めて教会学校に通う。福岡高等簿記専門学校卒業。義母の故郷・釜山(韓国)に疎開。亡命中のクリスチャンの中国人富豪と結婚し三男二女の母となるものの、朝鮮戦争によって財産を失ってしまうが、停戦後、孤児たちに炊出しを続け、17人を育てる。

1968年 ソウルに夫を残し、五児を連れて日本に帰国。翌年、脳卒中で倒れた夫を日本に連れ帰り、夫を介護しながら日本聖書神学校入学。1972年同校を卒業し、山谷(東京都台東区)で、独立自給伝道を開始する。

山谷の教会堂は、30人も座れば一杯になるが、日曜礼拝には400人、水曜祈祷会には200人以上が集まり、入りきれない人々は、会堂前の道路に並ぶほどである。

応援に来たある牧師が感嘆してこう言った。「いや、驚きました。あれだけ多くの人たちが路上にずらりと並んでいながら、咳払い一つする人がいない。よくあれだけ訓練なさいましたね。日本一の教会、日本一の信徒ですね」

その後、「ハーベスト・タイム」(キリスト教テレビ番組)から出演を依頼されたのを皮切りに、「ライフ・ライン」(同上)、兵庫県芦屋市のケーブルテレビ局等の取材が続く。そして1991年、

NHKからまる二ヶ月も密着取材を受け、92年2月6日放映のNHK総合テレビ「プライム10」で「再出発の冬—東京・山谷の小さな教会」と題して全国放映され、春子の活動が全国にあまねく知られるようになった。

この番組のことは「ロサンゼルス・タイムズ」「ノルウェー・タイムズ」等で報道され、欧米ほか150カ国でテレビ放映されることになった。そして、今も、その活動は続いている。

今回は、キリストの愛に突き動かされ、劣悪な環境の中にいるホームレスの人々に神の愛と生きる希望を与えた一人の小柄な女性の生き方から学びます。



日雇労働者の街、山谷 (映画『山谷 (やま)』より)

### 記

1. 日時:2017年5月12日(金) 10:30 AM より
2. 場所:ゴスペルホール(電話 026-295-6705)
3. 講師:尾崎富雄(ゴスペルホール代表)

**入場無料。**

**どなたでも参加できます。**